

地元での就職、たくさんの人とつながることにやりがいを感じる

ふと、地元朽木のことが頭を過ぎった

高校卒業後の進路を教えてください。

岐阜県の大学でスポーツ経営学科に進学しました。高校卒業後、就職しようとも考えていましたが、高校から引き続き大学でも野球がしたいと思い進学を決めました。大学では、プロ野球の球団経営やマーケティング、PR戦略に加え、スポーツ栄養学などを学びました。岐阜での一人暮らしは家事にさえ慣れれば比較的便利の良いところだったので楽しかったですね。

どうして農業協同組合(以下「JA」)への就職を選んだのですか？

就職活動ではスポーツ用品メーカーなどスポーツ関連の企業を視野に入れていましたが、ふと、地元朽木のことや家族のことが頭を過ぎりました。同級生の多くが地元から出ており、みんな外へ行ったら朽木はどうなるのだろうか。父は、すぐに高島に戻ってこなくてもいいと言ってくれましたが、長男としていずれ帰るのであれば、高島で就職しようと考えようになりました。高島市内の就職情報は多くはなかったのですが、大学の就職センターの紹介でJA西びわこに出会い、就職することにしました。当時は、JAというと農業に関係するという以外は具体的なイメージはなかったですね。

お客様から「JAの上山さん」と呼んでもらえるように

仕事について教えてください。

JA西びわこは、安曇川、高島、朽木の各組合が合併した組合で、この三地域に対応しています。事業は、農業生産に必要な資材販売や営農指導など、農家さんの農業を



支える営農事業、貯金やローンを扱う信用事業、病気や怪我、建物、車の保障などを行う共済事業があります。葬祭事業や買い物困難地を支援する移動販売も行っており、多岐に渡っています。

大学卒業後は、県内16JA合同の新人研修で、JAの事業はもちろん、日本の農業の実情なども学びました。

入組後は、朽木支店で信用外務の業務に就き、集金や定期貯金、積立貯金などの商品販売を2年間経験しました。初めは先輩について朽木を回りました。朽木が出身ということもあり土地勘はありましたが、朽木全部を回るのにこんなに時間がかかるとは思っていませんでした。

仕事で心掛けていることはありますか？

現在、入組して3年目となり、JA共済ライフアドバイザーという共済提案認証を受け、朽木、安曇川で保障設計プランを提案しています。お客様と話して、より良いプランを提案するのですが、時代とともに新しいものが出るプランをどう説明すれば分かりやすいか、日々、試行錯誤です。いざという時に、役立ててもらえるように内容を丁寧に説明し、納得してご加入いただけるように心がけています。ご契約後、組合員・契約者様にご契約内容をお忘れになることもあります。そのためにも、普段から、組合員の皆様とお話し、共済について思い出してもらえるようにしています。最近では、組合員の皆様から「JAさん」ではなく、「JAの上山さん」と呼んでもらえるようになりました。嬉しいですね。今後は、共済のことだけでなく、営農のことも勉強していきたいと考えています。仕事は覚えることがたくさんあり、さらに頑張ろうと思っています。

地域のたくさんの人と接する仕事

JAの仕事をめざす若い人へメッセージをお願いします。

JAは地域に密着した仕事です。地域のたくさんの人と接する機会があり、広い範

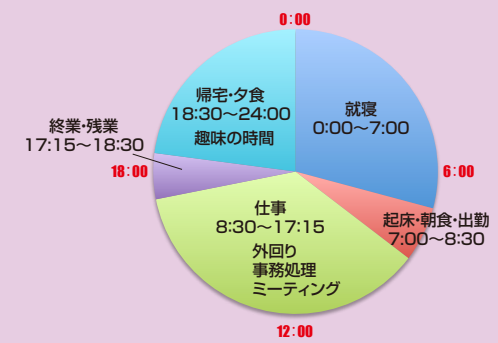


DATA

●プロフィール&高島らしさとは？

1990年、高島市生まれ。2012年、西びわこ農業協同組合入組。高島市は自然の多い中で、働きながら農業ができるのがいいと感じます。奥地の農地が荒れていることが気になります。

●1日のタイムスケジュール



囲の人とつながることができることに、やりがいを感じます。この仕事をしていなければ、地元でもこんなにたくさんの人と話す機会は無かったと思います。関心のある方には、お気軽に、お近くのJA本支店を覗きにきて、雰囲気を知ってもらいたいですね。

休日は、高校時代の野球部メンバーで作った草野球チームやビーチバレーで体を動かしたり、地域の消防団にも入り、地域とのつながりを感じながら暮らしています。

西びわこ農業協同組合 朽木支店

〒520-1401 高島市朽木市場854

TEL: 0740-38-2326 FAX: 0740-38-2328

HP: <http://www.ja-nishibiwako.or.jp/>